

平成29年度 事業報告書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

学校法人年木学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 年木学園（昭和63年3月31日法人設立）

代表者 理事長 年木 久博

住 所 大阪市淀川区野中南1丁目1番3号

電 話 06-6302-6878

FAX 06-6309-3484

設置する学校

住 所 大阪市淀川区野中南1丁目1番3号

名 称 アケミ幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催

評議員会 2回開催

職 員 12名

2. 事業計画

（ アケミ幼稚園 ）

《教育方針》

のびのびと自分を表現できる子どもの育成をめざします

《教育内容》

木々の自然の豊かな環境のなかで、一人ひとりに目の行きとどいた保育を心掛けています

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	25	1	35	2	60	4	120
28年度	2	32	2	34	1	40	5	106
29年度	2	25	2	32	1	32	5	89
30年度	2	32	1	31	1	32	4	95

《保育時間》

月・火・木・金曜日 午前9時30分～午後2時

水曜日 午前9時30分～午後12時30分

《納付金》

保育料 年額240,000円（12分割均等納付）

給食費 週4回 月額3,500円（実費のため変動あり）

通園バス費 月額2,000円

冷暖房費 年額2,650円

《入園時の費用》

入園料 50,000円

《預り保育の時間及び費用》

月・火・木・金曜日 午後5時まで

水曜日 午後3時30分まで (夏冬春休み中の預かり保育はなし)

月額 5,000円

《行事实施状況》

親子園則、園外保育、七夕祭り、プール開き、お泊り保育、夏期保育(プール)、バザー、運動会、秋期遠足、移動動物園、クリスマス会、おもちゃつき、節分、ひなまつり、おゆうぎ会

《施設関係》

園地面積 1,049㎡ 運動場面積 516㎡ 園舎面積 532㎡

園舎外壁塗装、トタン波板工事を実施。

《設備関係》

消防用設備点検。

《借入金関係》

三井住友銀行より、園舎補修工事資金を借入、池田泉州銀行より園舎外壁塗装工事資金を借入、期末残高は、8,988千円になった。

《事業報告》

平成29年度の事業は、前年度より園児が17名減少したものの、保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

さて、政府は、待機児対策を期待して、平成27年度に認定こども園をスタートさせていたが、平成28年度から企業主導型保育事業をスタート、今年度より、私立幼稚園での一時預り事業の充実を進めることが発表となり、待機児対策を強力に押し進めている。この矢継ぎ早の流れに、内容の理解が進まず、ポジティブな対応を多くの園がとることができていない状況にある。更に、政府は、保育士不足から、保育士資格者の配置基準の緩和を進め、子育て相談員(市町村長等が行う研修を修了した者)を職員資格に加え、専任教諭の専念義務の緩和と受け取れる状況を認めようとしている。一方、大阪府は、この状況を把握しているにも関わらず、森友問題を契機に監査グループを設置し、補助金調査の厳格化を進めようとしている。

以上のことを踏まえ、当園としては、新事業への理解を深め、事業継続を踏むため、5年後の事業を想定し、中期事業計画を作成する。また、補助金調査へしっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努めることとする。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が56,553千円(対前年比12.42%減)、教育活動支出計67,395千円、教育活動収支差額10,841千円のマイナスと前年度より大幅に悪化し、経常収支差額比率は1

9. 27%のマイナスと、厳しい財務状況になった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、72.26%となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を上回っているため、資金繰りは問題ない。

新年度、園児数は前年度より6名増加するので、財務状況は改善する。

また、当年度の卒園児は32名であるため、同数以上の園児確保を目指す。

3. 財務状況

別紙参照。